

メディカル・ウェルネステバイス分科会

本分科会のポイント

- 安心・安全・健康な生活・住環境の実現を目指し活動します。
- 健康・診断・医療・食品・衛生分野の最新デバイス、技術開発動向を調査します。
- 参加メンバー間での新たな連携プロジェクトの創出を目指します。

本分科会のねらい

人の健康を見守り、安心・快適な日常生活をサポートする環境健全性センシング技術、生体計測技術および精密医療技術は、社会の高い関心を集めています。大きな市場拡大が期待されています。このような市場の拡大を支えるバイオセンシング技術、MEMS技術、マイクロ流体デバイス技術、ナノテクノロジーなどの開発動向を調査して共有し、課題の抽出、技術的解決策の議論を重ね、参加メンバーの開発競争力強化とメンバー間の連携強化を図ります。参加メンバーによる新たな連携プロジェクトを立ち上げ、公的支援資金の獲得、事業化を目指した活動を行います。

活動内容

本分科会では健康・医療に関する計測及びセンシングに係わるデバイス開発やマイクロナノ技術の最新動向を調査します。専門家を招いた講演や現場ニーズの調査、技術交流会などにより情報共有を行うとともに、外部講師も交えたメンバー間での議論を行い産学官連携強化を推進します。また、個別の共同研究の実施に向けた協議、公的支援資金の獲得に向けた共同提案を行うことを計画しています。

情報共有および議論を目的とした分科会は年3回(6月、9月、1月頃)開催します(2019年度は11月と1月の2回の開催を予定)。公的支援資金の獲得に関する協議に際しては、その提案スケジュールに合わせて別途会合を開くことも検討します。



センシングシステム研究センター

銘苅 春隆(h-mekaru@aist.go.jp)
芦葉 裕樹(h.ashiba@aist.go.jp)

国立研究開発法人
産業技術総合研究所